おたる市議会だより

Otaru City Council Newsletter

第 106 号

発行／小樽市議会　編集／小樽市議会広報委員会
小樽市花園2丁目12番1号　TEL 22-2847　FAX 22-2315

令和８年11月１日発行



おたる潮まつり「潮ねりこみ」出発前に記念撮影を行う議員一同（令和８年７月25日）

議会の動き

９月２日	議会運営委員会
７日	議会運営委員会
８日	本会議
14･15日	議会運営委員会、本会議（会派代表質問）
16日	議会運営委員会、本会議（一般質問）、予算特別委員会（正副委員長互選）、決算特別委員会（正副委員長互選）
17･18･24日	予算特別委員会（総括質疑）
25日	総務･経済両常任委員会
28日	厚生･建設両常任委員会
10月１日	議会運営委員会、本会議
６日	決算特別委員会（書類審査、総括質疑）
７日	決算特別委員会（総務･経済両常任委員会所管事項）
８日	決算特別委員会（正副委員長互選、厚生･建設両常任委員会所管事項）
９日	決算特別委員会（総括質疑）

令和８年　第３回定例会

第３回定例会では、物価高騰の影響を受ける市民生活および事業活動への支援として、国の地方創生臨時交付金を活用した「高齢者等世帯臨時生活支援事業費」、「農業者物価高騰対応支援事業費」および「漁業者物価高騰対応支援事業費」などが計上された「令和８年度一般会計補正予算」のほか、学校給食費を公会計化するに当たり学校給食費の管理に関して必要な事項を定める「学校給食費の管理に関する条例案」などを審議しました。

議案のうち、令和７年度各会計の決算認定については、決算特別委員会に付託し、第３回定例会後に委員会を開催して審査しました。第４回定例会で決算特別委員長から審査結果が報告された後、採決する予定です。

＊＊定例会の議決結果は、８ページをご覧ください＊＊

小樽市議会ホームページ

「市議会会議録」や「おたる市議会だより」などをご覧になれます。

小樽市議会公式SNS

Facebook　Instagram

自由民主党の主な質問

【代表質問】



佐藤奈緒美（さとうなおみ）議員

若者や女性に選ばれるまちとは？

問 市長が所信表明で述べた「若者や女性に選ばれるまち」とはどのようなイメージで、その実現のためには何が必要と考えるか、示してください。

答 利便性が高く、安心して暮らせる生活基盤の下で、仕事や趣味、子育てなど、それぞれが理想とする自己実現をかなえられるまちと考えており、その実現のためには、ニーズを踏まえた支援策の展開や本市ならではの暮らしの魅力の積極的な発信が必要と考えています。

ペット同行避難について

問 避難所における具体的なペットの飼育スペースの割り振りや受入れに関する避難所運営マニュアルのアップデートについて、見解を伺います。

答 環境省ではペット避難に関するマニュアルの改訂を予定しており、その動向を注視しつつ、他都市の状況も踏まえながら、マニュアルの改訂作業を進めたいと考えています。



観光振興の波及効果について

問 波及効果を市内中心部の商店街や地場産業へ広く行き渡らせることが必要と考えますが、行政としてどのように展開するのか、示してください。

答 観光が生み出す価値を地域経済や市民生活の向上につなげることが重要と考えています。このため、観光客の市内回遊性を高め、商店街等への誘客を図るとともに、市内事業者と連携した体験型コンテンツの造成等を進めることで、観光需要を地域経済へ取り込み、観光による受益が広く行き渡るよう取り組みたいと考えています。

小樽市における小中一貫教育とは

問 小樽市における今後の小中一貫教育とはどのような教育方針か、示してください。

答 令和３年に改訂した小中一貫教育基本方針を基に取組を進めてきましたが、教育を取り巻く環境の変化を受け、義務教育９年間を見通した、教育課程の編成や一貫性のある指導の充実を図り、家庭や地域との連携を強化しながら、子どもたちの学びと成長を切れ目なく支えることを目指した基本方針の見直しを行っています。

※DX推進で市民の利便性と効率化

問 行政手続のオンライン化や窓口ＤＸを推進することで、行政事務の効率化と市民の利便性向上をどのように両立させるのか、見解を伺います。

答 オンライン申請できる手続の拡充や、「書かない窓口」の実装に向けた検討を進め、来庁や申請書記入の負担を軽減するとともに、申請情報のデータ化による入力・確認作業の削減等を進め、事務処理の迅速化と効率化を実現することにより、効率化と利便性向上の両立を図りたいと考えています。

【一般質問】



中村吉宏（なかむらよしひろ）議員

ガントリークレーンの更新について

問 小樽港のクレーンについて、国への予算要望を行い、更新に向けた取組を行う考えはあるのか、見解を伺います。

答 更新に必要な岸壁改良も含め、１００億円以上の事業費が想定され、今後対応が必要となる港湾施設の老朽化対策や耐震化などに支障が生じることが懸念されることから、更新することは考えていません。

公共施設整備の「見える化」について

問 整備に関する計画等を一元化、見える化し、市民が確認しやすい状況にまとめておく必要があるものと考えますが、見解を伺います。

答 整備や更新時期などを容易に確認できる環境の整備は、望ましいものと考えています。一方で、各計画は策定・更新時期が異なり、一元化して示すことは難しいことから、今後、所管部局ごとにホームページで公開している計画を、一括して閲覧できるようにするなど、改善を図りたいと考えています。

認知症の理解と支える場づくり

問 認知症の理解普及と学びの場を増やし、患者でも活躍できる場をつくるとともに、患者と家族を支える場づくりに取り組んでほしいと考えますが、見解を伺います。

答 認知症カフェ等で、本人や家族が交流しながら相談し合う場づくりのほか、参加者ができることを生かし、役割を果たすことで活躍できる場づくりも進めています。こうした取組の充実とともに、認知症サポーター養成講座等の学びの場を通じて認知症への理解促進を図り、地域全体で支え合う環境をつくりたいと考えています。

【主な質問項目】

- ▽高齢者の見守り支援について
- ▽※再エネ条例について
- ▽要配慮者への災害避難対応について
- ▽宿泊税の使途について
- ▽新総合体育館について
- ▽財政について
- ▽人口減少時代の行政運営について
- ▽プールについて
- ▽災害時のＪＲの運行支援について
- ▽エキノコックスと砂場の管理について
- ▽雨水排水対策について
- ▽※ほこみちの実施状況について
- ▽横断歩道の白線について
- ▽新銭函市民センターについて
- ▽上下水道ビジョンについて

※…７ページの用語解説をご覧ください。

自由民主党の会派控室電話番号…小樽市役所（代）32-4111 内線257、512、513

みらいの主な質問

【代表質問】



白濱（しらはま）　聡（さとし）　議員

火災予防・防火対象物

問　防火管理者選任義務のある防火対象物について、立入検査や防火対象物使用開始届の受付と連携し、選任の届出がないまま長期間放置されない仕組みをどのように構築しているか、示してください。

答　届出がない状況は立入検査等で把握していることから、これらの状況を管理しているデータに基づき、是正する指導を行うこととなっています。

中国コンテナ航路寄港地変更

問　港湾使用や地元企業にどのような影響が出ると見込んでいるか、示してください。

答　港湾施設使用料については、直近の令和７年度の実績では、荷役機械使用料などで年間約１８００万円の減収となります。市内企業への影響については、地元代理店から、荷主においては輸送コスト増の影響があり、代理店業務は引き続き地元代理店が担い、事務所の移転もないと伺っています。



部活動拠点校方式と地域展開

問　本市の部活動は、拠点校方式から地域へ展開していけるのか、見解を伺います。

答　生徒の活動機会を確保し、教職員の負担を軽減するためにも地域展開を行うことは必要であると認識しており、継続的に活動が実施できると判断できた種目については、順次、部活動の地域展開を実施していきたいと考えています。

【一般質問】



中村（なかむら）　岩雄（いわお）　議員

介護人材確保・定着に市独自の取組は

問　医療・介護・福祉の多職種が一堂に会する会合で、数年以内に介護人材の不足が限界点に達し、介護提供体制そのものが機能不全に陥りかねないとの切実な危機感が示されました。人材確保・定着に向けて、市として独自に講じている取組があれば、示してください。

答　令和７年度から、介護の仕事の魅力を若い世代に伝えるため、市内の中学校・高校を対象に出前講座を実施しているほか、介護の資格取得への助成や、外国人介護人材の定着に向けた、研修会および交流会を開催しています。

観光収益の「市民還元」可視化を

問　観光収益等を活用し、町会の街路灯負担をゼロにするなど、生活に直結する施策こそが人口減少時代における力強い政策になると考えますが、市民が実感できる、観光収益の「市民還元」の可視化に向けた取組について、見解を伺います。

答　観光資源の「市民還元」の可視化については、持続可能な観光地域づくりを進める上で重要な視点であると認識しています。市民に観光振興の意義や効果を実感してもらえるよう、※地域ＤＭＯである小樽観光協会と連携しながら、その効果の見える化に努め、「経済と生活の好循環」の実現を目指していきます。





平戸（ひらと）　理史（さとし）　議員

病児保育環境の安定的な確保

問　「市全体としての病児保育受入枠の複数化・安定確保」が実現し、リスク分散にもつながることから、病児保育の民間施設への委託事業化や利用料補助を検討してはどうかと考えますが、見解を伺います。

答　市内の病児保育施設が定員を大きく下回る利用状況であること、病児保育を行っている民間施設は、病児保育施設と近接し重複が生じることから、通常時からの委託は難しいと考えていますが、病児保育施設の休止が続いているため、どのような対応ができるのか、検討していきたいと考えています。

近隣自治体住民の病児保育受入れ

問　これまでの病児保育の利用実績も踏まえて、近隣自治体住民への受入れ対象の拡大に対する見解を伺います。

答　市内の病児保育施設の令和７年度延べ利用者数は73名であり、１日当たりの定員３名に対して余裕はありますが、近隣自治体からの受入れには課題も多くあると認識していることから、北海道の動向を注視していきたいと考えています。

【主な質問項目】

- ▽世帯全体に※ヤングケアラー支援を
- ▽子育て支援員の就労・定着支援策
- ▽町会活動デジタル化と若者参画に支援を
- ▽※たるたる支え愛ぷらんの担い手確保
- ▽更なる介護人材確保策の検討を
- ▽中年層向け介護・看取（みと）り学びの場を
- ▽下水道施設の機能維持・強化
- ▽市道入船線通行止めについて
- ▽名誉市民等の顕彰制度について
- ▽市民栄誉賞の創設要望について
- ▽総合体育館前のベンチ修繕経緯
- ▽学習環境の支援体制強化について
- ▽朝里温泉地域の振興について
- ▽市公式ＬＩＮＥの機能拡張
- ▽創業支援補助金の対象拡大を

※…７ページの用語解説をご覧ください。

みらいの会派控室電話番号…小樽市役所（代）32-4111 内線511

公明党の主な質問

【代表質問】



白川（しらかわ）貴城（たかしろ）議員

3期目の市政運営について

問　市長が掲げる「次の世代に大きな負担を残さないための布石」とは、具体的にどのような政策や市政運営を指しており、今後４年間でどのようなまちづくりにつなげていくのか、見解を伺います。

答　「布石」は、人口減少が進む将来において、安心して暮らし続けられるまちを実現するため、今のうちから必要な「備え」を進めることです。現在の市街地の広がりのままで、これまでと同様の公共サービスを維持することは、次第に難しくなることが予想されます。そのため、今後４年間では、都市機能や居住を適切に誘導していく「立地適正化計画」の実現に向けた議論を深め、具体策を検討していきたいと考えています。

学校給食費の公会計化について

問　公会計化により、従来の学校給食費の管理・徴収の在り方をどのように改善していくのか、見解を伺います。

答　給食費の管理については、市のシステムへの集約による教職員の業務負担軽減や、未納情報の一元的な管理による管理業務の効率化が図られると考えています。また、徴収については、納期ごとの督促状の発送や定期的な催告により徴収強化が図られ、公平性の確保につながるものと考えています。

空き家の防災対策について

問　空き家担当部署と消防本部が連携し、延焼リスクの高い空き家を把握・共有し、優先順位を付けて対応する仕組みを構築する考えはないか、見解を伺います。

答　空き家担当部署が保有する空き家情報に関して、共有が図られていない状況にあることから、まずは共有を図り、火災予防上、管理が不十分な空き家への対応も含め、連携について協議したいと考えています。

肺炎球菌結合型ワクチン接種の助成について

問　期間や年齢、対象を限定した形でも良いので、接種機会を逃した方への助成を前向きに検討してほしいと考えますが、見解を伺います。

答　定期接種以外の予防接種は、交付税措置や国の補助等もないことから、全額自己負担としており、独自の取組は難しいと考えています。接種年齢で予防接種を受けてもらうため、引き続き、封書による個別勧奨により、重要性や接種の具体的方法などについて、周知啓発に努めたいと考えています。

期日前投票所の増設について

問　次の統一地方選挙を見据え、ウイングベイ小樽１番街４階への期日前投票所設置について、具体的に準備・検討を進めていく考えがあるのか、見解を伺います。

答　１番街４階が市民の生活に密着した重要拠点として定着してきたことや、市民からも開設についての要望が寄せられていること、会場や通信回線の確保の課題は一定程度クリアしていることから、令和９年の統一地方選挙での実施に向け、関係機関と協議を始めるなど、具体的に準備を進めています。



【一般質問】



横尾（よこお）英司（えいじ）議員

ドローンを活用しやすい環境整備を

問　事業者が小樽でドローンを活用しやすい環境づくりに向けた「小樽ドローン活用フィールド&ロケーションマップ」といった情報基盤を官民連携で整備することについて、見解を伺います。

答　ドローンが活用可能な場所等を周知できるツールがあることにより、事業者がスムーズに実証などを進める環境が整うものと想定されます。そのため、基盤整備に当たり必要な情報について、まずは、事業者ニーズの把握に努めていきたいと考えています。

※有収率向上へ丁寧な分析と実効性ある対策を



問　水道事業の有収率向上へ、現状の丁寧な分析と、地理的条件を踏まえた実効性ある対策の検討を進めてほしいと考えますが、見解を伺います。

答　これまでの調査から給水管の漏水が多いため、取替えの呼び掛けを行うこと、また、地理的に水質保全に伴う放水量が多いことから、管の口径を縮小することといった対策を進めていきます。

【主な質問項目】

- ▽勤労女性センターの名称変更について
- ▽街路灯・園路灯・街路防犯灯を一括契約に
- ▽運河公園周辺の市有地の活用
- ▽観光バス駐車場について
- ▽若竹物揚場の放置艇について
- ▽女性の人材育成には他部署との連携が必要では
- ▽新銭函市民センターにマンホールトイレを
- ▽※フェーズフリーの考え方を取り入れる建て替えを
- ▽おたるプレミアム付商品券事業の実施結果
- ▽水道事業における有収率低迷と老朽化
- ▽地域学校協働本部と地域運営組織
- ▽水道事業における新技術選定の検討は
- ▽飲食料品の消費税率引下げによる影響は
- ▽潮まつりにおける安全管理と対応について
- ▽歴史的風致の維持・向上のための防火施策

※…７ページの用語解説をご覧ください。

公明党の会派控室電話番号…小樽市役所（代）32-4111　内線516

日本共産党の主な質問

【代表質問】



松井真美子（まついまみこ）議員

市内中心商店街の活気について

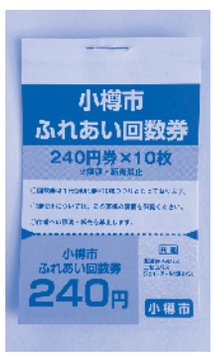
問　人通りが少なく、閉店となった店舗も増えている中心部の商店街の活気について、市長はどのように感じているか、示してください。

答　最盛期に比べ、人のにぎわいが減っていると感じています。市民消費を支える役割を維持するとともに、観光消費を商店街へどのように取り込み、活性化につなげていけるか、商店街関係者などとも連携し、取り組みたいと考えています。

ふれあいパス制限なく し活気あるまちづくり

問　ふれあいパスの冊数制限撤廃は、市長が政治姿勢とする経済と生活の好循環、活力あるまちづくりにつながると考えますが、見解を伺います。

答　ふれあいパス事業は、経済と生活の好循環ではなく、高齢者の外出支援を目的とした事業であり、高齢者の社会参加等に大きな役割を果たしていると認識していますが、限られた財源の中、事業を継続するためには、冊数制限を設けざるを得ないと考えています。



通級指導教室を朝里中学校にも設置を

問　朝里小学校には、通級指導を受ける児童が市内で最も多く在籍することから、中学校に入って取り残されないよう、新年度から設置してほしいと考えますが、見解を伺います。

答　中学校進学後も必要な支援を受けられることは大切であると認識していますが、専門性を有する教員の配置など、一定の条件を整える必要があることから、慎重に判断する必要があるものと考えています。

※包括的性教育推進で子どもの人権教育

問　教育内容を決める教育課程編成権は学校長にあることから、学校の判断において包括的性教育を行うことについて、見解を伺います。

答　学校の判断のみで包括的性教育の全てを一律に指導できるものではなく、学習指導要領との整合を図りながら指導することが必要と考えていますが、個々の事情に応じた個別の相談や指導までを制限するものではないと認識しています。

【一般質問】



小貫（おぬき）　元（はじめ）議員

石狩湾新港で254億円の大工事

問　新港では※基地港湾として新たな岸壁とふ頭用地を造成する予定があり、事業費は254億円、借金返済は150億円と見込まれています。事実上、特定の企業による専用ふ頭となることから、公共性に欠け、税金としての整備に問題が残ると考えますが、見解を伺います。

答　本事業は、港湾法の規定に基づき、許可事業者に港湾施設の長期貸付けが認められており、この事業者は再エネ海域利用法による公募により選定されるため、公共性は確保されているものと考えています。

借金返済150億円、市民負担は

問　小樽市民の税金が約11億円つぎ込まれた石狩湾新港西1号岸壁のように、市民の税金による穴埋めが行われることはあり得ないと胸を張れるのか、見解を伺います。

答　道内での洋上風力導入に向けた動きがあることから、地理的に優位な石狩湾新港を複数の海域の発電事業者に基地港湾として利用されることが見込まれます。また、貸付料については、「海洋再生可能エネルギー発電設備等取扱ふ頭の貸付制度」において、基地港湾に投資した金額は回収されると認識しているところです。



高野（たかの）さくら　議員

街路防犯灯の助成額の増額を

問　街路防犯灯の更新等が困難な町会もあることから、助成額の更なる引上げの検討を求めますが、見解を伺います。

答　現段階で変更することは考えていませんが、今後、物価高騰の影響などにより実勢価格に大幅な乖離（かいり）が見られた場合には、助成額の見直しを検討していきたいと考えています。

中学校の部活動支援を

問　部活動の保護者負担が大きいことから、国や道に財政支援を求めるとともに、市としても財政支援の実施が必要と考えますが、見解を伺います。

答　部活動の物品購入に係る学校への配当予算など、支援に努めており、国や道には、北海道都市教育委員会連絡協議会を通じ、部活動の地域展開に向けた財政支援などについて、引き続き要望していきます。

【主な質問項目】

- ▽国保「子どもの均等割」減免を
- ▽校内教育支援センター増設を
- ▽学校体育館エアコン設置急いで
- ▽トイレカーの導入検討を
- ▽市営住宅の申込みをしやすく
- ▽カーブミラーの設置を
- ▽市道のトンネル照明を明るく
- ▽石狩湾新港に貨物を奪われたこと
- ▽市民の税金で赤字を補填した結果
- ▽ふれあいパスの枚数を増やして
- ▽蘭島市営住宅は単身も可能に
- ▽除排雪路線、※でじ樽なびで公開を
- ▽教材等、学校備品として整備を
- ▽こども性暴力防止法の周知を
- ▽トライアル朝里店横信号機

※…７ページの用語解説をご覧ください。

日本共産党の会派控室電話番号…小樽市役所（代）32-4111 内線515

立憲・市民連合の主な質問

【代表質問】



下兼（しもがね）　薫（かおる）　議員

市長の政治姿勢について①

問　本市の転出者の年齢層やその理由について把握している状況と、そこから推測できることを示してください。

答　20歳代が転出者の大半を占め、特に20歳代前半が突出して多い状況です。また、転出者へのアンケートによると、20歳代の転出者の約７割が転出のきっかけに仕事の都合を挙げ、約４割が札幌市へ転出しています。背景として、就職機会等が都市部に集中していることや、交通や商業施設など、若者が利便性の高い都市環境を求める傾向があると認識しています。

市長の政治姿勢について②

問　既存事業の改善や新たな施策によるU※ターン推進の展開が必要と考えますが、見解を伺います。

答　現在募集している移住プロモーションをミッションとする地域おこし協力隊の活用など、外部人材の視点を取り組むほか、若い世代を対象とした住宅支援策などの検討を進めていきたいと考えています。

小樽市指定ごみ袋の臨時対応について①

問　７月15日から８月31日までに限り、透明または半透明の袋で、燃やすごみ、燃やさないごみの排出を認める対応を行いましたが、指定ごみ袋の作成枚数はどのように決定されているのか、示してください。

答　令和８年度は、６年度下半期と７年度上半期の計12か月分の各サイズの出庫量を基準に決定しています。



小樽市指定ごみ袋の臨時対応について②

問　臨時対応期間中のごみの総排出量が前年同期と比べ15・４％増えたと報道されましたが、燃やすごみ、燃やさないごみそれぞれの増加率と、処理場での受入れにおける支障の有無について、示してください。

答　燃やすごみが10・０％、燃やさないごみが48・６％の増となっています。また、本市のごみを受け入れている北しりべし広域クリーンセンターでは、臨時対応による支障は生じていません。

【一般質問】



佐々木（ささき）　秩（つなさ）　議員

ゼロカーボンシティ小樽市に向けて

問　市が掲げる温室効果ガス２０３０年度50％削減との目標に向け、削減が十分でない場合には、既存事業の見直しや、より効果の高い施策の追加など柔軟に対応し、可能な限り「何t-CO_2※削減できたか」など進捗の成果を市民に分かりやすく示していくべきと考えますが、見解を伺います。

答　既存事業について削減効果の検証をしつつ、効果が十分でないと思われる事業は見直すとともに、新たに効果の高い取組を取り入れ、目標達成に向けて進めていきます。また、市民の意識醸成を図る上で事業成果の公表は重要であり、可能な限り削減量を含め、市ホームページなどで分かりやすく示していきたいと考えています。

公園愛護会制度について

問　自治基本条例で掲げられている「市民との協働」を、公園という最も身近な公共空間で具体的に実践するため、公園愛護会を地域の重要なパートナーとして位置付け、情報共有や担い手の確保、制度の検証なども含め、将来にわたって持続可能な制度としていく考えや方向性について見解を伺います。

答　会員の高齢化や担い手不足などにより、活動を継続していく上での課題が生じているものと認識しています。今後、公園愛護会の御意見を伺いながら、活動に伴う負担の軽減に向けた方策や、次の世代や地域の方々の参加を促進するため、効果的な啓発方法を検討するなど、持続可能な制度となるよう努めていきたいと考えています。

学校給食センターの災害対応と今後について

問　災害時に給食センターを実際に稼働させるため、必要な条件について検討を進める具体的連絡組織または話合いの場を設ける考えはあるのか、見解を伺います。

答　地域防災計画に位置付けている以上は、どのようなケースが想定され、どのような対応が必要か、検討しておく必要があると認識していることから、組織の設置について検討したいと考えています。



【主な質問項目】

- ▽朝里川「かわまちづくり計画」
- ▽空家等管理活用支援法人について
- ▽学校給食費公会計化について
- ▽防災気象情報の改定について
- ▽小中学校の防火避難体制について
- ▽避難所運営等について
- ▽動物行政について
- ▽マンホールトイレについて
- ▽災害時の断水への対応について
- ▽観光協会の経営状況について
- ▽小樽市鳥獣被害防止計画について
- ▽行政のデジタル化について
- ▽電子投票について
- ▽新銭函市民センターについて
- ▽受動喫煙について

※…７ページの用語解説をご覧ください。

立憲・市民連合の会派控室電話番号…小樽市役所（代）32-4111　内線514

新議員を紹介します

令和８年８月９日の補欠選挙で２名の議員が当選しましたので、紹介します。



髙木 紀和 議員
議席番号23
自由民主党



船木 悠平 議員
議席番号24
立憲･市民連合

令和８年９月８日付けで髙木紀和議員と船木悠平議員が委員に選任されたことに伴い、総務常任委員会と厚生常任委員会は、以下の構成となっています。

総務常任委員会		厚生常任委員会	
委員長	松岩一輝　議員（自）	委員長	髙橋　龍　議員（立）
副委員長	小池二郎　議員（み）	副委員長	酒井隆裕　議員（共）
委員	白川貴城　議員（公）	委員	橋本布美絵　議員（公）
委員	松井真美子　議員（共）	委員	佐藤奈緒美　議員（自）
委員	髙木紀和　議員（自）	委員	中村岩雄　議員（み）
委員	佐々木　秩　議員（立）	委員	船木悠平　議員（立）

（委員の順は議席番号順、自＝自由民主党、公＝公明党、み＝みらい、立＝立憲・市民連合、共＝日本共産党）

令和７年度の決算を審査しました

「令和７年度一般会計歳入歳出決算認定について」など各会計の決算議案が第３回定例会に提出され、閉会後、決算特別委員会で審査しました。なお、令和７年度各会計の決算状況は、下の表のとおりです。

（単位：億円）

会計	歳入	歳出
一般	681.1	668.1
港湾	5.9	5.9
水産物	0.4	0.4
国保	120.6	120.0
介護保険	153.1	151.2
後期高齢	27.1	26.2

（単位：億円）

会計	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
病院	132.7	142.6	10.0	14.4
水道	28.2	25.7	12.2	23.3
下水道	35.4	37.0	22.5	31.4
産廃	1.9	1.6	—	—
簡易水道	1.3	0.9	0.3	0.6

（一般＝一般会計、港湾＝港湾整備事業特別会計、水産物＝水産物卸売市場事業特別会計、国保＝国民健康保険事業特別会計、介護保険＝介護保険事業特別会計、後期高齢＝後期高齢者医療事業特別会計、病院＝病院事業会計、水道＝水道事業会計、下水道＝下水道事業会計、産廃＝産業廃棄物等処分事業会計、簡易水道＝簡易水道事業会計）

用語解説

●**ＤＸ（デジタル・トランスフォーメーション）**（２ページ）
ＩＣＴ（情報通信技術）の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

●**再エネ条例**（２ページ）
「（仮称）小樽市自然環境等と再生可能エネルギー発電等事業との調和に関する条例」の略称。

●**ほこみち**（２ページ）
道路を通行以外の目的で柔軟に利用できるようにするため、道路法に基づき指定する「歩行者利便増進道路」の愛称。

●**地域ＤＭＯ**（３ページ）
観光地域づくりを目的とした地域内の連携組織のこと。

●**ヤングケアラー**（３ページ）
本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子供・若者のこと。

●**たるたる支え愛ぷらん**（３ページ）
「小樽市地域福祉計画・小樽市地域福祉活動計画」の愛称。

●**有収率**（４ページ）
総配水量のうち、水道料金として収入になった有収水量が占める割合のこと。

●**フェーズフリー**（４ページ）
身の周りにある物やサービスを日常時だけではなく非常時にも役立つようにデザインする考え方のこと。

●**包括的性教育**（５ページ）
体の仕組みや生殖だけでなく、人権や多様性、安心・安全、人との関わり方など幅広いテーマを含む教育のこと。

●**基地港湾**（５ページ）
洋上風力発電設備の設置や維持管理に利用するため、重厚長大な資機材を扱える地耐力と広さを備えたふ頭を有し、港湾法で海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾として指定された港湾のこと。

●**でじ樽なび**（５ページ）
地図上で市の様々な情報を閲覧できる公開型地理情報システムのこと。

●**ＵＩＪターン**（６ページ）
出身地へ戻る「Ｕターン」、出身地以外の地方へ移住する「Ｉターン」、出身地に近い地方都市へ移住する「Ｊターン」など、都市部から地方へ移り住むことの総称。

●**ｔ-CO_2（トン・シーオーツー）**（６ページ）
二酸化炭素１トンを意味する単位のこと。

第３回定例会に提出された議案等の議決結果について

全会一致で可決・同意・承認となったもの

区　分	件　　名
市長提出	令和８年度一般会計補正予算
	令和８年度国民健康保険事業特別会計補正予算
	令和８年度介護保険事業特別会計補正予算
	令和８年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算
	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
	小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観条例の一部を改正する条例案
	市営住宅条例の一部を改正する条例案
	学校給食費の管理に関する条例案
	工事請負変更契約について［公営住宅建替工事（塩谷Ｂ住宅）］
	工事請負変更契約について［公営住宅建替機械設備工事（塩谷Ｂ住宅）］
	損害賠償額の決定について
	教育委員会委員の任命について（仲倉優氏）
	専決処分報告［こども医療費助成条例の一部を改正する条例］
	専決処分報告［重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例］
議員提出	議員の派遣について

態度の分かれたもの

区　分	件　　名	各会派の態度					採決結果
		自民	公明	みらい	立･市	共産	
議員提出	非核港湾条例案	×	×	×	○	○	否　決

全会一致で継続審査となったもの

区　分	件　　名
市長提出	令和７年度一般会計歳入歳出決算認定について
	令和７年度港湾整備事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和７年度水産物卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和７年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和７年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和７年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和７年度病院事業決算認定について
	令和７年度水道事業決算認定について
	令和７年度下水道事業決算認定について
	令和７年度産業廃棄物等処分事業決算認定について
	令和７年度簡易水道事業決算認定について

継続審査となった決算議案については、第３回定例会閉会後の決算特別委員会で審査を行い、同委員会における審査結果については、第４回定例会で採決する予定です。

意見書

区　分	件　　名	各会派の態度					採決結果
		自民	公明	みらい	立･市	共産	
意見書	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書（案）	○	○	○	○	×	可　決
	軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	可　決
	備蓄米水準の早期回復を求め、生食用ジャガイモの輸入解禁を行わないことを求める意見書（案）	○	○	○	○	○	可　決
	「防災庁」発足を見据えた地方自治体との連携強化及び防災体制の抜本的強化を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	可　決
	化学物質過敏症に関する対策強化を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	可　決
	夏休み中の子どもの貧困対策及び緊急セーフティネットの強化を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	可　決

可決された意見書は、関係省庁等へ提出しました。　　賛成○　反対×
（自民＝自由民主党、公明＝公明党、立･市＝立憲･市民連合、共産＝日本共産党）

編集後記

九月一日は防災の日であり、九月を防災月間としている自治体もあるようです。本市においても八月二十七日に小樽市総合防災訓練が行われました。

熊本地震や度重なる集中豪雨などもあり、今号を見ていただくとお気付きかと思いますが、今定例会は全般的に防災、減災の質問が目立ちました。

議員それぞれがそれぞれの考えを用いて防災について質問をする。防災はあらゆる想定をして臨まなければならない問題であり、各議員の防災に対する質問はこれから起こり得る本市の災害への対応に役立つものになることでしょう。

災害が起きたから質問をするのではなく、私たちも平時から災害に備える必要性を改めて感じたところです。皆さんも防災の意識を持ち、平時から災害に備えていただきたいと思います。

中鉢　淳一

■広報委員
委員長　横尾　英司
委　員　松井真美子
　　平戸　理史
　　中鉢　淳二
下兼　薫

■小樽市議会ホームページ（小樽市議会中継）
小樽市ホームページ https://www.city.otaru.lg.jp のトップページ「市議会」からアクセスしてください。

■「おたる市議会だより」に対するご意見、ご感想をお寄せください。
宛先　（〒047−8660）小樽市花園2丁目12番1号　　小樽市議会事務局　TEL 22−2847　FAX 22−2315　E-mail:gikai@city.otaru.lg.jp